

森ネコと

暮らしてみませんか？

今、野生化したネコにより希少な野鳥や小動物が食べられてしまうという問題が、世界中で起きているのをご存知ですか？そんな中で、時にはネコが「ノネコ」と呼ばれ、駆除や殺処分の対象となっていることもあります。でも、彼らは元々人に飼われていたのに捨てられたり逃げ出したりして、森の奥で増えてしまったネコ達。ネコはただその場を一生懸命生きているだけで、ネコに罪はありません。だから私達は彼らのことを「森ネコ」と名付け、森から連れ出し飼い主さんを募集する活動を始めました。

ネコは元々、人の元で暮らすべき存在。人に馴れないと思われがちな彼らも、共に暮らすうちに本来のイエネコの姿を取り戻し、その多くは心を開いてくれるようになります。だから・・・そんな彼らを家族に迎え、暮らしを共にしてみませんか？



🐾 森ネコって、どんなネコなの？

「森ネコ」とは、森で暮らしたことがあるネコのこと。多くは元々人に飼われていたのに捨てられたり逃げ出したりして森の奥で繁殖し、そのまま森で暮らしています。その中には森の奥深くに棲み、人と出会ったことのないネコもたくさんいます。とはいえ生物学的な分類では「イエネコ」とされ、家で人と暮らすネコの血を引いています。

※「森ネコ」は、今は人の元で暮らしているネコと、現在も森で暮らしているネコの両方を含みます。



🐾 森ネコは、森にいてはいけないの？

「森ネコ」は森の中で暮らし、小動物などを食べ、子育てをしています。森ネコは元々自然界に存在しなかった為、時に希少な野鳥や野生小動物を捕食してしまい、在来種の存続を脅かす事が世界的に問題になっています。その上ネコは繁殖力が非常に強く、1匹の親ネコが年に10頭以上の子供を産みます。その為、そのままにしていると爆発的に数が増えてしまいます。私達が主に活動している御蔵島はオオミズナギドリという海鳥の世界最大の繁殖地ですが、ここでもオオミズナギドリが森ネコに捕食されており、全滅の可能性もあると言われています。



🐾 森ネコは、本当に人と暮らせるの？

「森ネコ」達の多くは最初警戒心を露わにしていますが、そのうちの多くは時間が経つにつれ、馴れてくるようになります。個体差はありますが、なでたり抱っこしたりできるようになる森ネコもたくさんいます。インターネットで森ネコの暮らしぶりが分かる写真や動画を見ることができ、特にFacebookグループの「森ネコひろば」では、かわいい森ネコ達の情報をたくさん発信しています。また、里親会では本物の森ネコに会うこともできます。個性あふれる愛らしい森ネコ達の姿を、ぜひご覧ください。



🐾 森ネコの為に、何かできることはある？

「森ネコ」達の飼い主さん、預かりボランティアさんを常時募集しています。森ネコとの暮らしにご興味をお持ちくださった方は、私達にぜひ一度ご連絡ください。預かりボランティアさんや、里親会をご紹介します。最初から飼い主確定ではなく一時預かりからスタートすることもできますので、例えば先住ペットがいる場合に相性を見てから決める、などということも可能です。

また、飼うのは難しいけれど、何かできないかな・・・という方は、「伝える」ことから始めてみませんか？このチラシをご家族やお友達に渡したり、SNSの情報をシェアしたりして、ぜひ周りの方にお伝えください。また、Amazonほしい物リストなどによる物資のご支援や、ご寄付も受付しています。ぜひ、私達の活動や預かりボランティアさん、そして森ネコ達をサポートしていただければ幸いです。

「森ネコ」は法律上「ノネコ」と呼ばれていますが、この呼び名は「害獣として駆除の対象となるネコ」という意味でもあります。でも、その存在を生み出したのは他の誰でもない、私達人間。自分達で生み出した存在を、自分達の手で駆除していいの・・・？そんな疑問を持った私達は、ノネコの事を「森ネコ」と名付け、森から連れ出して飼い主さんを募集する活動を始めました。ノネコは凶暴、人に馴れない、生態系を破壊する悪者・・・本当にそうなのか、ぜひあなたの目で確かめてみませんか。

御蔵島のオオミズナギドリを守りたい有志の会 長谷川 潤・草地 ゆき

活動報告・森ネコ里親募集・ボランティア募集などの情報を発信しています。

Google検索「オオミズナギドリを守りたい」 <https://oomizunagidori.jimdo.com>

Facebook内検索「オオミズナギドリ」 <https://www.facebook.com/SaveTheOmizunagidori>

Facebook内検索「森ネコひろば」 <https://facebook.com/groups/555057494850209>

